



## 第32回新座市福祉フェスティバル

〇〇〇〇〇〇〇〇〇 に参加しました！！



〇〇〇〇〇〇〇〇〇

2025年6月1日(日)

市役所駐車場にて



6月1日(日)、「第32回新座市福祉フェスティバル」に参加してきました。梅雨とはいえ日差しの強い1日でしたが、たくさんの市民が参加されていました。長年新座に住んでいる私ですが、今回が初めての参加で、個人的にも楽しませてもらいました。

えんの出店内容は、豆腐白玉ぜんざいと、挟(きょう)けち染めでした。豆腐白玉ぜんざいは、ミカンにサクランボ、白玉、こし餡と食欲をそそる彩り。白玉に豆腐を使っているのでふっくらとやわらかく、思わず笑顔になるおいしさでした。

挟けち染めは、色水で和紙を染めるのですが、どれひとつとして同じものがないアートでした。

小さなお子さんにも楽しんでもらえ、私にとってうれしい1日になりました。

(スタッフ・小林一美)



## 第23回定例総会を終えました

6月から早々に熱中症アラートが発令される毎日ですが、お変わりありませんか。在宅介護利用者さんにはエアコンをつけない方、水分を十分に取れていない方も多く、対策に苦勞する毎日です。もちろんヘルパーの側も背中に保冷剤を入れたベストなどで身を守りながら奮闘しています。長い厳しい夏が恨めしい介護サービスです。

6月22日暮らしネット・えん第23回定例総会を開催、新任理事、監事の承認も含め全議案が承認されました。

今期2年(役員任期)は、運営の中心を次世代に渡す準備の期間と位置付けています。まずこれからのえんをどんな姿にしたいか、法人全体で考えることから始めます。超高齢社会本番を迎える中にもかかわらず、介護保険に対する国の姿勢はどう見ても後ろ向き、障がい者福祉も決して見通しは明るくありません。そんな中で引き継いでもらわなければならないのは心苦しいものもありますが、いつまでも同じ体制ではられません。おかげさまで、次世代にはまじめで真摯なスタッフが多く、安心してゆだねられると信じています。NPOの世代交代は難題と言われていますが、地域の介護・福祉を守るために必要不可欠です。2年後の報告を楽しみにがんばります。

もう一つの大目標は「赤字にしない!」。物価は高騰、修繕費や車両の買い替え、多機能ホームは建て替えと経費は掛かるばかりの中、収入のほとんどを占める介護報酬は一向にあがらず、事業を行う上であたりまえの「黒字」を目標に掲げました。実は前年度は年度末の多額の遺贈寄付で黒字になりましたが、実質は約900万円の赤字。2年続きになってしまいました。原因の一つはグループホームえんが、人手不足から新しい入居者を年度後半ストップせざるを得なかったことでした。おかげさまで、すでに入職や異動で職員は充足し、新しい方の入所が始まっています。また、訪問介護は報酬減額の影響で時間単価▼2%になり、その減収分は▼260万円になります。パートさん2人分の給料に相当する額です。

実質的な大仕事は多機能ホームまどかの新築準備。3月に借地契約が済み、今年度1年かけて設計や資金の手当などを済ませ、来年度前半に着工の予定です。小規模多機能型介護は、地域になくってはならない在宅サービスです。竣工を迎える2026年度末を目指して力を尽くしたいと思います。

大きな課題山積の2025年度、地域の皆さんの応援をこれまで以上にお願い申し上げます。

代表理事 小島美里





## 出版記念講演 トークイベント 『マンガ認知症【介護施設編】』出版記念 ～認知症がある人と家族は何に困っているか～



えんの定例総会後、マンガ認知症の出版を記念して、トークショーが行われました。登壇者は漫画家のニコ・ニコルソンさん、編集者の藤岡さん（マンガ認知症のなかではF岡さんとして登場）、老年心理学の第一人者である佐藤眞一さん、そして代表の小島さん。藤岡さんの華麗なる司会進行のもと、あっという間の1時間が過ぎ、終わってしまうのが惜しい気持ちでした。

まず、福祉の現場で働くもののひとりとして、「介護をしている家族の施設入所を考えるのはどんな時？」と問われたら、「昼夜逆転して介護が大変になってきたら？それとも排泄の失敗が多くなったらかな？」と答えそうなところを、小島さんは「殺したくなったらよ」と答えたと。それに「感動した」と佐藤先生、小島さんのこの返答が『マンガ認知症施設介護編』への監修要請へと繋がったと言います。「なんと物騒な！」と思う反面、家族の介護をしながら働く仲間が「口には出さないけれど、心の中で何度も親に手をかけたことがある」と話していて、介護家族にとって、自分の限界を自覚する重要なポイントだとも感じました。

ニコさんからは自分のお祖母さん（書籍では婆ルソンとして登場）への介護についてお話してくださいました。サービス付き高齢者住宅にいた時は表情が乏しく、特養ホームに入所してからは表情が出てきたと言います。「これぞプロ！」と感じる場面は多々あったそうで、婆ルソンさんの排泄介助が始まる様子を眺めていたら、スタッフより「少し離れていてもらえませんか？」と言われたそうです。家族でも本人のプライバシーを優先させたことに感動したと話していました。「介護は誰でもできる仕事ではない！」と言ってくださったことが嬉しく、また、私たち介護職にとっては当たり前のことでも、びっくりする人もいるのかと改めて感じました。

この本に小島さんが加わったのは、前著の岩波書店「あなたはどこで死にますか」を読んで、具体的な数字がたくさん盛り込まれていたからだったとのこと。ニコさんは「こんなにお金がかかるのか！母はどうにかなるかもしれないけど自分自身は難しいかも…」と思われたそうです。お金の話が描かれているのはそんな理由だったのですね。だから介護と無縁な人々に届く書籍ができたのだと思います。

トークショーを終えて、私たち福祉職には当たり前のことでも、一歩外に出れば「それは初めて聞いた！」ということばかりなのだと感じました。改正（改悪？）のたびに煩雑になっていく介護保険制度を、より分かりやすく、よりイメージしやすく伝えていくのも私たちの大切な役割だと実感しました。

（ケアサポートえん／遠野瑞穂）



# 国会集会に参加しました!

## 「各政党に問う『尋常ならざる事態!』どうするつもり?介護保険」



多機能ホームまどか／小室仁志

衆議院議員会館で、議員や報道を招いて行われる集会に初めて参加しました。

2024年の改定で訪問介護事業では倒産が相次ぎ、訪問介護が存在しない自治体がある事態となっている事は知っていました。保険料を払っているのにサービスが受けられない、などというのは制度として破綻しています。自分事として考えても大きな不安があります。少子化の原因は、老いても楽しい社会でないことも一因だと思います。こうした考えを政治に反映させるには、この集会のように、政党に現場の声を伝え、質問し、回答を得て公開し、公約にあげるよう働きかけることが大切だと改めて感じました。

ケアサポートえん／小野実穂

院内集会に参加するのは人生で初めての経験でした。当日は全国から介護・福祉に携わる様々な立場の方が衆議院会館の一室に集まっていました。まず現場から過酷な労働環境や経営が大変な中で働かざるを得ないことや、そのために利用者さんへ提供するサービスの質が落ちてしまったり、今後はサービスの提供自体ができなくなるのでは?など悲惨な現状を訴える報告が多くありました。一方で、集会の取りまとめ役でもある小島さんより、政権与党の自民・公明党が初めて出席したのは大きな成果だとの結びがありました。現場で働く一人のヘルパーとして、自分が働く職場環境を良くしていくにはこうした現場からの声を届ける運動や、政治に参加していくこと(選挙での投票も)が欠かせないのだということを目の当たりにした貴重な体験となりました。

ケアサポートえん・グループホームえん／立川栄侍

5月28日(水)議員会館で開かれた院内集会に参加させていただきました。

普段政治とは無縁(決して無関心な訳ではないですが…)の私が、着ていく服にも多少気を使い、永田町駅で降り、実に小学校の社会科見学以来となる国会議事堂を通り過ぎ、議員会館に着き、空港並みの手荷物検査を受け、会場入りしました。



集会では、各党への介護保険に係るアンケート結果が公表されたあと、各党の議員の方たちが並んで考え方を述べられました。事前アンケートは介護保険に関する11項目、その中の一つに訪問介護の基本報酬減額について「次期改定を待たずに撤回を求めることに賛成か」がありました。野党は概ね賛成でしたが、自民党、公明党の与党は明言を避けました。訪問介護事業所の中には、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）に併設している事業所（併設型）があり、同じ建物の中で訪問するので移動時間もなく、言うなれば効率が良く、収益（介護報酬）も上げています。一方、私たちのような一般的な訪問介護事業所では、雨の日でも一日10km以上自転車で移動しているヘルパーもいます。現場のヘルパーは移動だけでも労力が必要です。そういった一般的な事業所と、効率の良い併設型の事業所の介護報酬は分けて考えるのが当然で、記者からの質問にも、この件が多く聞かれました。グリーン車乗り放題の議員さんに理解してもらえたでしょうか。今回の集会には初めて与党から自民党、公明党の議員が参加されました。聞くところによると、国は介護に関して「産業化と効率化」をうたっているそうですが、その背景には何があるのかをしっかりとみて頂きたいです。

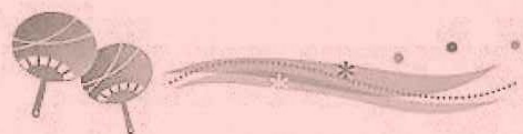
私も訪問介護で働く一人として、これからも現場の声を発信し、各党の介護への方針について注視して、次の選挙での指標にしたいと思います。

### 寄付のお願い

暮らしネット・えんは2016年埼玉県より認定NPO法人として認定を受けました。当法人への寄付は、寄付金控除などの対象となり、所得税や法人税税制上の優遇措置が受けられます。

「高齢になっても、障がいがあっても、この街で暮らし続けるために」を掲げて2003年から活動を重ねてまいりました。収入のほとんどは介護保険や障害福祉の報酬ですが、残念なことに諸物価や賃金の上昇に見合うだけの額が保証されていません。寄付収入は、地域に根差した在宅介護を守り続けるための貴重な資金になっております。是非とも多くの方のご支援をお願い申し上げます。

お問い合わせは下記のとおりです。



問い合わせ先: TEL048-480-4150 Email: kurashinet@npoenn.com



# 2025 新人スタッフ紹介

初めまして、この度まどかのスタッフの一員となりました高宮遥です。私は母からの紹介でえんを知り、お仕事をさせて頂くこととなりました。私は介護福祉学科をこの春卒業したばかりで、経験がなく分からないことが多いのですが、丁寧にご指導して下さる先輩方に恵まれ、勉強の毎日です。利用者さん一人一人に向き合いサポートしたいです。よろしくお願いします。

(多機能ホームまどか／高宮遥)



1998年11月からデイサービスのお手伝いから始まり、2000年にヘルパー2級、その後介護福祉士資格を取得して今まで介護職を続けてきました。高校卒業後、事務職、美容院手伝い、保険の外交を経て介護の仕事が一番長い職業になりました。実母が他界しケアサポートえんさんに平成20年2月実父が亡くなるまでお世話になっていました。

今年68歳になりますがもう少し介護職を続けたいと思い、この4月からお世話になることになりました。今後も勉強し介護職を頑張りたいと思っていますので、よろしくお願いします。

(多機能ホームまどか／小林一美)

この度、ご縁がありまして、介護スタッフとして働かせていただくことになりました、金子慧と申します。介護の仕事は未経験ですが、初任者研修で学んだ知識と技術を活かし、一日でも早く皆様のお役に立てるよう精一杯努めてまいります。

長年、玩具店で接客業に携わっておりましたので、利用者さん一人ひとりに寄り添い、笑顔を引き出すことには自信があります。また、高校時代には円谷プロで着ぐるみのスーツアクターを務めておりました。体力にも自信があります！

明るく元気にサポートさせていただきます！未熟な点多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします！

(多機能ホームまどか／金子慧)



似顔絵/馬場敏美 (元ケアサポートえん職員)・イラスト校正/金子慧 (多機能ホームまどか)





萱島圭一（かやしまけいいち）です。6月1日からグループホームえんで働いています。昨年1月に初任者研修を修了し、同年4月から小規模多機能型居宅介護施設で働いていました。介護に携わってまだ1年と少しになります。前の職場では人間関係に苦労し、心が疲れてしまった時に小島代表に声を掛けて頂き、えんでお世話になる事になりました。えんで働いてまだ1ヶ月ですが、スタッフの方々からも沢山声を掛けて頂き、職場の雰囲気も良く、利用者さん皆さん穏やかに過ごしている施設と感じ、当施設に転職出来た事に感謝しております。

まだまだ経験が不足している私ですが、利用者さんのご家族に、この施設に来て良かったと思って頂けて頼りにされるスタッフを目指して、これからも勉強と経験を積み重ねて行きたいと考えています。これから宜しくお願い致します。

（グループホームえん／萱島圭一）

ほぼほぼデスクワーク主体の前職を45年務めてリタイア。多機能ホームまどかをメインに、えんの食卓、ケアサポートえんを兼職して、そろそろ1年になります。10数年来、まどかのランチや畑ボランティアに関わってきて、利用者さんに広く受け入れられている様子を見聞きしていたので、ここでもうひと働き、と思いました。自分の落ち度もダイレクトに利用者さんに影響する一方、直接、お役に立てていることも感じられます。長時間通勤から解放され、地元で手ごたえが得られる仕事はありがたいですね。



（多機能ホームまどか／佐野利男）

教員を定年退職し、非常勤講師として勤務はしているものの、時間を持て余すことが増えてきました。その時、家内が長年勤めている「まどか」から、「えんの食卓」の昼食配達サービスの手伝いを勧められ、現在二か月が経ちました。

もともと車の運転は好きで、固定ルートの巡回配達も苦ではありません。長年ゴールド免許を保持していましたが、数年前に、些細な一時停止違反で失効し、それ以降も安全運転を心がけています。利用者の健康状態に配慮し、昼食を待つ笑顔に触れたいと思います。



（えんの食卓／片野尚樹）



第22回 暮らしネット・えん **みんなのコンサート**



民族歌舞団

# 荒馬座



## 太鼓と踊りでイキイキ！！

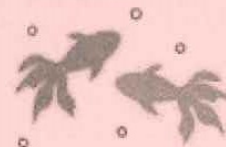
予定演目：エイサー、獅子舞、荒馬踊り 他

日時 **2025年11月9日(日)** 開場 **1:30** 開演 **2:00～(予定)**

場所 **新座市立中央公民館 体育室**



## 職員大募集！！



離職率が低いと評判の暮らしネット・えんで一緒に働いてみませんか？

ヘルパー(訪問介護職員)・介護職員・送迎運転担当者募集しています。

資格がない方も資格取得のお手伝いをいたしますので、ご相談ください。

地域で暮らし続けていくために **2025年度新規・継続会員募集中！**

正会員：1000円 賛助会員：3000円

※入会を希望される方は、事務局までご連絡ください。

郵便振替(00180-5-314344)



■ 編集・発行 **認定NPO法人暮らしネット・えん**

〒352-0033 埼玉県新座市石神2-1-4

TEL:048-480-4150 FAX:048-201-1311

Eメール: [npoenn@jcom.home.ne.jp](mailto:npoenn@jcom.home.ne.jp)

ホームページ: <https://npoenn.com/>